

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	経営トップが積極的に関与しあらゆる雇用条件で差別しない公平な取組みを進めている。ハラスメント規定（教育済）を策定済。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント規定を策定済。ハラスメントの撲滅を経営トップから伝達・共有、教育し相談窓口を設置済。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	業務の効率化、設備投資による生産性向上を図るとともに、社員全員の時間外労働の毎月の管理を行い、長時間労働の是正を行っている。									8.5 8.8								
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現時点で外国人労働者はおらず、また採用する計画はもっていないが、必要な際には労働環境の整備をおこなっていく。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	各部門に安全衛生委員を任命し労災発生に努めている。年間を通じ安全衛生に関するポスター等を掲示し社内へ通知している。			3						8								
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	職場における心の健康づくり計画書を作成し、メンタルヘルス対策を進めている。外部のメンタルヘルスサポートサービス制度を設けている。			3														
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	多様な人材が活躍できるよう、時短有給制度や適切な職場への人員配置に取り組んでいる。高齢者の積極的長期雇用にも取り組んでいる。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職務や役割に応じた外部研修、資格取得を実施し社員のスキルアップにつなげている。				4	5.5				8	9							
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し同一労働、同一賃金等の原則に沿った体制の整備をすすめている。					5.5				8.5		10.2 10.3						
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	人間ドックへの補助金を行い、また外部へのセカンドオピニオン、健康コール24等のサービスを提供し社員の健康維持に取り組んでいる。			3						8								
<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の分別排出を徹底しそれぞれの排出量を管理し削減への取組みを実施している。リサイクル可能なものはすべてリサイクルとして再利用している。											11.6	12.4		14.1				
<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	事業活動に必要なすべてのエネルギー項目の数値管理を行い、温室効果ガス排出量の削減に積極的に取り組んでいる。									7.3					13				
<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	温室効果ガス排出の原因となるそれぞれの項目（電気、ガス、ガソリン、軽油）の削減目標を設置しPDCAを回すことにより削減への取組みに積極的に貢献している。（エコアクション21の取組みとして活動中）									7.2 7.3			12.4	13.3					
<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	使用する資材すべてのMSDSを入手し有害化学物質の使用量抑制、管理に努めている。（現在1種類のみ対象物質あり）			3.9			6.3					11.6	12.4						

環境	□ □	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した製品設計に積極的に取り組み、日本の包装コンテストである「日本パッケージングコンテスト」アジア地区のコンテスト「アジアスター賞」、世界のコンテスト「ワールドスター賞」で評価されこれまで何度も受賞歴あり。国際的な森林認証制度である「FSC/COC認証」も認証済。														6.6					15	
		【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	材料使用量の削減、リサイクルしやすい製品の積極的採用、リターナブルパッケージの積極的開発、販売に取り組んでいる。																		12.5		14.1
		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	生活用水の節水活動はもちろんのこと、ボイラーで使用する水を削減させるために生産性の向上につとめるとともに、印版洗浄機の洗浄水の再利用を行っている。																6.4 6.6				

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21 認証取得済(2008年11月取得済)			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境レポートを毎年作成しHP内で開示。また環境省主催環境コミュニケーション大賞に応募し、2018年度は環境レポート部門「優良賞」、2019年度は「優秀賞」、2020年度は「優良賞」受賞。2021年度は「エコアクション21オブザイヤー」金賞(環境大臣賞)受賞。												12.6						
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	本社工場で太陽光発電システムを設置し事務所内の日中の電力をすべて賅っている。塩田工場にも約80kwの太陽光発電システムを設置している。							7.2						13					
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	国際的な森林認証である「FSC/COC認証」を取得し持続可能な森林資源の保全に積極的に貢献している。												12.2	13	14	15			
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	サービス規律により行動規範を整備し、社内浸透を図っている。																	16	16.5
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	サービス規律により行動規範を整備し不正競争に関与しないよう社内浸透を図っている。																		16
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許事務所へ依頼し特許を取得している。								8.2	8.3	9								
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	取扱管理者を決め個人に係る情報が漏洩しないよう努めている。																		16
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社では紛争鉱物を取り扱っておりません																		16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	持続可能な森林資源を継続するためFSC認証紙拡大に努め、調達ルートを明確化している。取引先と倫理面について、文書により取り組み状況の確認活動を行っている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	使用者に使用原材料のMSDSの提供を行い、安全の確認を行っている。			3.9										12.4					
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質管理規定を設け品質の向上維持につとめ、クレーム発生の場合はその原因(真因)と再発防止策に努めている。その他、クレーム情報や品質課題を共有しより良くする取り組みを推進中。																		9
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	省資源、軽量化、薄物化に貢献し、また分別しやすくリサイクル可能な商品開発に努め積極的な提案を展開中。その内容が評価され国内、国外の包装コンテストにこれまで何度も受賞歴あり。						6							12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	現在の人手不足や物流危機に対応するため、できるだけ作業性がよく簡単な梱包商品の設計に努めている。また多頻度納入を改善するためロット集約の取組みや包装材のミニマム化(輸送効率向上)への開発と提案を推進中。SDGsに配慮した製品設計も展開長中。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）